《パターン１：債務名義が判決，少額訴訟判決等の場合》

　請　　求　　債　　権　　目　　録

○○地方裁判所令和○○年(ワ)第○○○○○号事件の執行力のある判決正本[[1]](#footnote-2)に表示された下記債権

　　　　　　　　　　　　　　　　記

１　元　本 金２００万円

２ 損害金

　　ただし，上記１に対する令和２年７月２日から支払済みまで年３％の割合による損害金

《取立等がある場合[[2]](#footnote-3)》

請　　求　　債　　権　　目　　録

○○地方裁判所令和○○年(ワ)第○○○○○号事件の執行力のある判決正本に表示された下記債権

記

下記１及び２の合計から，下記取立金等（ただし，下記各事件の執行費用分を除く。）を控除した残金

１　元金　　　金１，０００，０００円[[3]](#footnote-4)

　　ただし，主文第１項に記載された金員

　２　損害金

　　　上記１に対する令和２年５月１日から支払済みまで，年３％の割合による損害金[[4]](#footnote-5)

**［以下，該当するものを記載する。]**

**《取立てがあった場合》**

申立人は，○○地方裁判所令和○年（ル）第○○号事件，同庁令和●年（ル）第●●号事件にて，債務者につき合計○○円[[5]](#footnote-6)を取り立てた。

**《配当等があった場合》**

申立人は，○○地方裁判所令和□年（ル）第□□号事件，同庁令和■年（ル）第■■号事件にて，債務者につき合計□□円[[6]](#footnote-7)の配当等を受けた。

**《債務者から任意弁済があった場合》**

　申立人は，債務者から合計△△円の弁済を受けた。

1. 判決書に代わる調書の場合には，「第〇回口頭弁論調書（判決）正本」，「第〇回口頭弁論調書（少額訴訟判決）正本」とするなど，債務名義の標題に合わせます。 [↑](#footnote-ref-2)
2. この書式は，債務名義上の債権額が，調査した債務者の財産（資産額）よりも多額であることが明らかな場合を想定したものです。事案によっては，詳細な残額計算表が必要になります。 [↑](#footnote-ref-3)
3. 判決正本等債務名義の記載をそのまま転記します。 [↑](#footnote-ref-4)
4. 同上 [↑](#footnote-ref-5)
5. 奥書に記載された金額を記載します。 [↑](#footnote-ref-6)
6. 同上 [↑](#footnote-ref-7)